



## 『その人にとっての普通』を考えて



トナム学校7年生のグルング・ソニカさんが、平成30年度全国中学生人権作文コンテスト旭川地方大会で優秀賞（旭川人権擁護委員連合会長賞）を受賞しました。

ソニカさんは、『お互いを理解する』というテーマでこの大会に応募。大会には1,800編もの多数の作品が応募され、厳正な審査の結果、ソニカさんの作文がみごと優秀賞を受賞しました。

ソニカさんは、「どんな人でも偏見を持たずに接したい。賞のことは全く考えていなかったので受賞できてうれしかったです。」と笑顔で話してくれました。

以下は、ソニカさんの作文です。

### 『お互いを理解する』

トナム学校7年 グルング ソニカ

私は、小学校6年生の時に近所の知り合いの人に誘われて、はじめて共働学舎にお手伝いに行きました。共働学舎とは、いろいろな理由から社会で居場所を見つけられない人が働く場所です。障がいのある人も働いています。はじめて働いている人に会った時は、とても驚きました。ずっと笑っている人もいて、「どうしたのかな。」と思いました。この6年生の時は、共働学舎で働いている人たちを理解することができずに終わってしまいました。

7年生になってから、また知り合いの人に「共働学舎にいかない？みんなソニカに会いたがっているよ。」と誘われました。私は、「手伝いも大変だし、会ったこともないような人ばかりだったから行きたくない。」と思いました。ですが、「せっかく誘ってくれたし、会いたいと言ってくれている人もいるなら行ってみようかな。」と思いました。

行ってみると、前よりも働いている人たちと話すことができ、畑の仕事の時も話をしながら作業しました。休憩の時には昼ご飯に誘ってもらえてうれしかったです。最初に行った時は、「どうしてなんだろう。」と思うことがたくさんあったけれど2回目は、「それがその人の普通なんだ。」と思いました。「その人にとっての普通」だと思っていると、障がいのことを忘れて楽しく話すことができました。

私も最初は驚くことがたくさんありましたが、社会においても障がいのある人に対する理解は、十分ではないと聞いたことがあります。電車の中や会社で差別を受けている人もいるそうです。最近では相模原市で「障がい者はいない方が良い」と語る男の人によって、たくさんの障がいのある人が殺されてしまいました。

私も最初は障がいを理解できていませんでした。今でもまだ理解できていないところもあります。それでも私は、その人たちのそのままの姿を受け入れることができるようになりました。障がいのある人はなりたくてなっているのではないです。だから私たちがその人たちの出来ないことを助けたり、楽しくなるように一緒に過ごしたりしていくことが大切だと思います。

助ける時は、その人が本当にやってほしいと思った時に手伝うことが大切だと思います。なぜなら、その人が自分で挑戦するべきこともあると思うからです。また、その人が手伝いをしてほしくない時もあると思います。その人にとって迷惑にならないように手伝いたいです。

みんなが楽しくなるように過ごすためには、自分から声をかけることが大切だと思います。なぜなら相手を知ったり、受け入れたりするためには自分からアクションを起こす必要があるからです。私も恥ずかしながら声をかけて話すようにしたいです。

共働学舎に行って、様々な体験をしました。その中でも、家族ではないのにみんなが家族のように仲良くテーブルを囲んで、食事をしていたのが印象的でした。私も障がいのある人に偏見をせずに接していきたいです。そして、私も同じ輪の中に入って食事をしたいです。社会の人々が私と同じ気持ちをもてたらみんながうれしい気持ちになると思います。

## 大人顔負けのプレゼンテーション



12月12日（水）、児童自らが学んだものをわかりやすく発表する学習発表会が、中央小学校で開催されました。

遠足の感想やフライドポテトの作り方、サツマイモ収穫日記、食品店でのリサイクルやバリアフリーの工夫、ポテトチップスの製作過程、ウミガメについて、消防士の大変な業務と訓練、警察の仕事、アイヌ文化、外国語で学んだことなど、児童が発表した内容はさまざま。

児童は、プレゼンテーション用のソフトを巧みに使いこなし、堂々と発表していました。

## 薬物乱用の恐ろしさを学ぶ



12月14日（金）、不正薬物の取り締まりに関わる税関職員の仕事内容や実例を学び、薬物乱用の恐ろしさや身を守るための方法を身につけることを目的とした『薬物乱用防止教室』が、占冠中学校で開催されました。

薬物は医療などの現場で正しく使用されており、適正ではない使用方法を『乱用』と呼びます。税関職員からは、不正薬物やニセブランド商品の取り締まり状況などの実態の説明がありました。

参加した中学生は、薬物の依存性、幻覚症状、生活が破綻した事例、精神障害など、恐ろしい実態を知ることによって、薬物の危険性について理解を深めました。

## 新年恒例 子どもカルタ大会



1月20日（日）に、コミュニティプラザで子どもカルタ大会が行われました。

大会は、占冠村子ども会育成協議会が主催し、18名が参加。子どもたちは、元気な声を発してカルタの争奪合戦を繰り広げ、悔し泣きする子どももいました。

成績は以下のとおりです。

1位 百人一首K S Y

石塚 聖くん 蠣崎 蒼空くん 鈴木 楊生くん

2位 チビー' S ☆

満永 梓咲さん 奥田 紗帆さん 中本 帆香さん

3位 マスクマン

八木 翔琉さん 石坂 佑都さん 井川 紡さん